

神奈川県肝炎対策推進計画の 取組状況について

神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課

2024年2月2日

神奈川県における肝炎対策推進計画（令和5年3月改定）

基本理念

正しい知識で肝臓を守り、いのちをつなぐ・ささえる神奈川づくり

全体目標

ウイルス性による肝炎から肝硬変または肝がんへの移行者を減らす。

肝炎対策の5つの柱

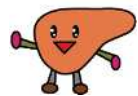
1 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

2 肝炎ウイルス検査の受検の促進

3 肝炎医療を提供する体制の確保

4 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成

5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実



予防



受検



受診



受療



施策1 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

1 施策

- 1 肝炎を予防するための普及啓発
- 2 B型肝炎ワクチンの定期接種及びインターフェロンフリー治療の推進
- 3 肝炎患者等に対する偏見や差別の防止

2 個別目標

- 肝炎に対する認知度（どのような病気か知っている割合）を向上します。
県民ニーズ調査における肝炎に対する認知度の向上
 - ・ 平成30年3月改定計画（平成25年度：47.4%⇒平成34年度：57.4%）
- ↔ **令和4年度 50.9%**
- ➔ 令和5年3月改定計画（令和4年度：50.9%⇒9年度：60.0%）

施策1 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

3 施策展開

< 具体的取組（主なもの） >

- ①関係者への働きかけ、②啓発リーフレットの配布・配架、③肝疾患医療センターにおける医療従事者研修会の開催、④県ホームページによる広報 など

< 併せて >

- ◇ R5.8.22「知って、肝炎プロジェクト」神奈川県知事表敬訪問によるPR
- ◇ 藤沢市 2023年度「知って、肝炎プロジェクト」積極的広報地

施策2 肝炎ウイルス検査の受検の促進

1 施策

- 1 肝炎ウイルス検査に関する普及啓発
- 2 肝炎ウイルス検査の実施
- 3 職域における受検勧奨

2 個別目標

- 肝炎ウイルス検査受検率を向上します。
県民ニーズ調査における肝炎ウイルス検査受検率の向上
 - ・ 平成30年3月改定計画（平成29年度：23.2%⇒平成34年度：33.2%）
- ↔ **令和4年度 25.5%**
- ➔ 令和5年3月改定計画（令和4年度：25.5%⇒9年度：33.2%）

施策2 肝炎ウイルス検査の受検の促進

3 施策展開

< 具体的取組（主なもの） >

①関係者への働きかけ、②受検勧奨リーフレットの配布・配架、③がん検診と連携した受検促進、④肝炎ウイルス検査等の実施 など

< 併せて >

◇ R5.8.22「知って、肝炎プロジェクト」神奈川県知事表敬訪問によるPR

【改定協議時のご意見等】

職域における受検勧奨の強化

➔ 第一生命保険株式会社との包括協定に基づく県政情報の発信

- ・ 第一生命保険の顧客の方に受検勧奨リーフレットを配布

↔ 関連する施策 1 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

施策3 肝炎医療を提供する体制の確保

1 施策

- 1 肝疾患診療ネットワークの充実・強化
- 2 検査陽性者のフォローアップ

2 個別目標

- 肝炎ウイルス陽性者を適切に医療につなげるための体制を構築します。
 - ・ 平成30年3月改定計画
(陽性者フォローアップ事業 県内全市町村実施率100%)
- ↔ **令和4年度 28 / 33自治体**
- ➔ 令和5年3月改定計画 (令和4年度：28自治体⇒9年度：33自治体)

施策3 肝炎医療を提供する体制の確保

3 施策展開

< 具体的取組（主なもの） >

①関係者への働きかけ、②肝疾患医療センター・肝臓専門医療機関における医療提供体制の状況を定期的に確認、③肝臓手帳等による受療の必要性の周知 など

< 併せて >

【改定協議時のご意見等】

ウイルス性肝炎は、手術前の感染症スクリーニング検査等で判明することがあるため、整形外科や眼科等の外科系の医療機関との連携方策について、実態調査等を踏まえて検討が必要

➔ 手術前検査等での肝炎ウイルス検査に係る結果説明の状況調査を実施

- ・ 調査に御協力をお願いした県内335病院に結果を送付
- ・ 検査結果に係る文書説明、陽性患者の方への精密検査や治療の勧奨を依頼

施策4 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成

1 施策

- 1 医療従事者のスキルアップ
- 2 肝炎対策に携わる人材の育成

2 個別目標

○ 「肝疾患コーディネーター」を養成し、かかりつけ医療機関、薬局、職域、行政などに配置します。

- ・ 平成30年3月改定計画（平成34年度までに500人養成・配置）

↔ **令和4年度 756人**

➔ 令和5年3月改定計画（令和9年度までに、県内全市町村に配置）

施策4 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成

3 施策展開

< 具体的取組（主なもの） >

①肝疾患医療センターにおける医療従事者研修会の開催、②肝疾患コーディネーター養成セミナーの開催 など

< 併せて >

【改定協議時のご意見等】

肝疾患コーディネーターの活動支援や配置の均てん化

肝臓専門医のいない医療機関、薬局、職域、行政などにおける肝炎ウイルス検査の受検勧奨や陽性者フォローアップ等を行う人材として「肝疾患コーディネーター」の養成に引き続き取り組み



施策4 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成

3

(施策展開)

- ➔ かながわ肝疾患コーディネーターピンバッチを作成・配布（4年度から）
- ➔ 更新者向け、新規者向けセミナーをそれぞれ開催。更新者向けは、既修了者のうち更新対象でない方も受講可（4年度から）
- ➔ コーディネーターが配置されていない地域、職域へのアプローチ
 - ・ セミナー開催を、産業保健総合支援センターと連携し企業に案内（4年度から）
 - ・ 県から、県内全市町村、コーディネーター不在市町村域の薬局、がん治療と仕事の両立推進企業に案内
- ↔ 関連する施策
 - 1 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発
 - 2 肝炎ウイルス検査の受検の促進
 - 3 肝炎医療を提供する体制の確保
 - 5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

施策5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

1 施策

- 1 相談支援
- 2 肝炎患者等に対する情報提供等
- 3 肝炎治療医療費助成制度等の実施

2 個別目標

○ 相談したいが相談できないでいる患者（「相談先がわからない」も含む）の割合をゼロにします。

「肝炎患者に対する意識調査」における割合減少

- ・ 平成30年3月改定計画（平成28年度：15.7%⇒平成34年度0%）

↔ **令和2年度 10.0%（参考値）**

➔ **令和5年3月改定計画（令和9年度 0%）**

施策5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

3 施策展開

< 具体的取組（主なもの） >

①肝疾患医療センターにおける相談センターの設置、②肝疾患コーディネーターや県ホームページによる相談窓口の案内・情報提供、③相談会の開催、④肝炎治療医療費助成制度等の実施 など

(参考) 施策3 手術前検査等での肝炎ウイルス検査に係る結果説明の状況調査 【概況】

病院において手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果の説明状況について実態を把握し、今後の肝疾患対策の資料とする。

- (1) 調査対象：県内の病院 335機関
- (2) 調査方法：県電子申請システムによる多項目選択式
- (3) 調査時期：令和5年3月13日～3月31日
- (4) 調査項目（次の8項目）
 - Q1 貴院では、手術等の観血的処置を行っていますか。
 - Q2-1 貴院では、術前検査等でB型・C型肝炎ウイルス検査を行っていますか。
 - Q2-2 肝炎ウイルス検査で「陽性」だった患者への受診勧奨等の対応状況について選択・入力してください。（複数回答可）
 - Q3-1 肝炎ウイルス検査の結果を患者に説明していますか。
 - Q3-2 肝炎ウイルス検査で「陽性」だった患者への説明方法について選択してください。
 - Q3-3 肝炎ウイルス検査で「陰性」だった患者への説明方法について選択してください。
 - Q4 手術前医学管理料、短期滞在手術等基本料に包括されている肝炎ウイルス検査を行う場合には、結果が陰性であっても説明し、文書により提供する必要があることを知っているかについて選択してください。
 - Q5 検査結果の伝達、受診勧奨を行う上での課題等（自由記載）
- (5) 回答数 : 115病院（回答率34.3%）

【集計】

1

肝炎ウイルス検査の実施状況と受診勧奨（Q2-1・2）

- 〔Q2-1〕術前検査等でB・C型肝炎ウイルス検査を行っているという回答があった病院は79であった。
(n=115)
- 当該79病院に、〔Q2-2〕陽性であった患者への対応状況をお尋ねしたところ(複数回答可：回答数95)多い方から、①、③、②、④の順であった。



- ①自院消化器内科へ紹介し、受診勧奨をしている 45病院
- ②肝臓専門医がいる他院へ紹介し、受診勧奨をしている 17病院
- ③医療機関として方針は立てず、主治医に一任している 25病院
- ④検査結果の伝達は行うが、特に受診勧奨はしていない 7病院
- ⑤検査結果の伝達も受診勧奨もしていない 0病院
- ⑥無回答 1病院

【集計】

2 肝炎ウイルス検査の実施状況と受診勧奨（Q3-1・2・3）

- 〔Q3-1〕 肝炎ウイルス検査結果を患者に説明していると回答のあった病院は77であった。（n=115）
- 当該77病院に、〔Q3-2・3〕 「陽性」「陰性」患者別に説明方法をお尋ねしたところ、
 - 陽性・陰性患者とも「口頭説明のみ」が最も多（陽性患者48.1%、陰性患者45.5%）
 - 「文書を交付し、かつ口頭で説明」は陽性患者で44.2%、「結果は伝えていない」は陽性患者で0であった。

〔Q3-1〕

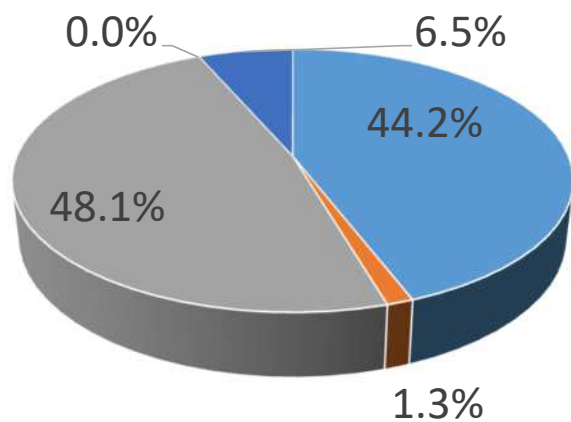


- ①説明している 77病院
- ②説明していない 5病院
- ③検査を行っていない 33病院

【集計】

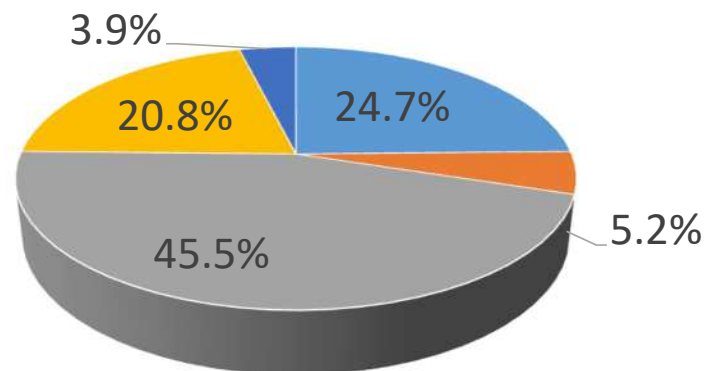
2 肝炎ウイルス検査の実施状況と受診勧奨（Q3-1・2・3）

〔Q3-2（陽性患者）〕



- 文書を交付し、かつ口頭で説明 34病院
- 文書交付のみ 1病院
- 口頭説明のみ 37病院
- 結果は伝えていない 0病院
- その他 5病院

〔Q3-3（陰性患者）〕



- 文書を交付し、かつ口頭で説明 19病院
- 文書交付のみ 4病院
- 口頭説明のみ 35病院
- 結果は伝えていない 16病院
- その他 3病院

【集計】

3 手術前医学管理料、短期滞在手術等基本料の算定要件（Q4）

- 手術前医学管理料、短期滞在手術等基本料に包括されている肝炎ウイルス検査を行った場合は、結果が陰性であった場合を含め、適切な説明を行い、文書により提供する必要があることを認識されているかをお尋ねした。（n=115）
- 「知っている」は40病院（34.8%）であった。



- 知っている 40病院
- 知らない 65病院
- その他 10病院

4

調査結果の周知、依頼

- 調査に御協力をお願いした県内 335 病院に結果を送付
- 検査結果に係る文書説明、陽性患者の方への精密検査や治療の勧奨を依頼
- 県作成の「肝炎ウイルス検査の結果説明に係る参考様式例」を参考送付